

## 2019年原水爆禁止世界大会メッセージ

広島・長崎では、原子爆弾が投下されてから74回目の夏を迎えます。

世界で唯一の戦争被爆国である我が国は、後世に戦争の悲惨さを伝えるとともに、「核兵器のない世界」の実現に向け、核兵器の使用の惨禍を訴える責務を有しています。

本市では、平成18年に市議会において「非核平和都市宣言」が議決され、また、平成22年には「平和首長会議」に加盟し、平和行政の推進に取り組んでいます。

国際情勢をみますと、2月に開催された2回目の米朝首脳会談は合意には至らず、依然として朝鮮半島の非核化や平和体制づくりに不安を残しており、中東情勢においても緊張が高まっています。

こうした中で開催されるこの大会は、核兵器の非人道的影響の認識を共有し、「核兵器のない世界」に向けた結束を固め、核軍縮の原動力として私たちを導いてくれるものと確信しています。

令和元年(2019年)8月

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

山陽小野田市長 藤田剛二